



～これからが本番～

今年は3月1日が卒業式ですから、9月は三年生にとっては折り返し地点の月ということになる。ついこの前夏休みになったと思っていたが、就職希望者は履歴書と格闘する忙しい日々を過ごし、夏休みもあっという間に終わってしまいました。我々担任団も部活動やら進路関係の書類に追われ、休む間もない夏でした。高校で就職する生徒にとって『就職先を決める』というのは人生の大きな節目であり、その場に立ち会えることに対して大きな責任感を感じながら過ごしてきたつもりです。



本当に厳しかった履歴書を無事書き終える（中には履歴書が5枚で足りなかった生徒も…）ことができ、いよいよ就職試験を残すのみとなりました。（9月上旬にはジョブカフェ石川の面接指導があります…）

履歴書記入で『卒』、『英』、『募』、『簿』などの文字の訂正を受けた生徒は数知れず、検定試験の月を間違えた、検定試験の順番が日付順番になっていないなど、進路指導課の先生方には本当に丁寧に見ていただき本当に感謝しなければなりません。何度も書き直しを指摘され、書くのが嫌になった生徒も多々いると思いますが、すべては君達のためにしてくれたことなので、『感謝』の言葉しかありませんね。就職選考会で第一希望にならなかった生徒も何度も履歴書を書き直しているうちに『この会社に入社したい』と思うようになったのではないかと思います。



就職希望者はこれからが本番です。履歴書を記入して満足してしまった生徒、非公開求人だから絶対に大丈夫だと思っている生徒、今年は景気が良いから大丈夫だと思っている生徒、OB面接で絶対に大丈夫だと太鼓判を押された生徒、そんなに甘くはありません。最後の最後まで気を引き締めて試験に臨んで下さい。全員が一発で合格することを担任一同祈っています。

～進学準備～

進学希望者は夏休み中にオープンキャンパスなどに参加し、大きな夢を膨らませていることと思います。保護者の方々とコミュニケーションを密にとり、しっかりと話し合いをしておいて下さい。進学をするということは多額の費用がかかるということですから、就職とは違い自分の判断だけで決めることはできません。保護者の方々の協力がないと進学はできません。学年通信 NO.7 でもお伝えしましたが、奨学金制度というものもありますので、進学する方法は一つではありませんが、現実問題となるとやはり保護者の方々の支援と協力が必要になります。ご家庭でしっかりと話し合いをしておいてください。

